

活動報告

日程

	日程	宿泊【食事】
1日目	午前：東京・大阪・福岡発、空路シェムリアップへ(乗継)。 夕刻：着後、ホテルへ。	(シェムリアップ泊) 【夕】
2日目	終日：アキラ地雷博物館訪問。カンボジアの地雷について学ぶ。 「CVSG」自立支援センター、ジャックフルーツ農園等訪問・見学・オリエンテーション。自立支援センターでは「CVSG」のスタッフから、カンボジアの現状と「CVSG」の活動についてレクチャーを受ける。自立支援センターの子どもたちが中等教育を受けるため、寄宿生活を送る子どもセンターも訪問。	(シェムリアップ泊) 【朝】【昼】【夕】
3日目	終日：「CVSG」活動地にて、村人の農作業の手伝い、施設整備等の土木作業、子どもたちとの交流。	(シェムリアップ泊) 【朝】【昼】【夕】
4日目	終日：「CVSG」活動地にて、村人の農作業の手伝い、施設整備等の土木作業、子どもたちとの交流。 夜：カンボジア文化の伝統舞踊(アプサラダンス)を鑑賞しながら夕食。	(シェムリアップ泊) 【朝】【昼】【夕】
5日目	午前：「CVSG」活動地にて、村人の農作業の手伝い、施設整備等の土木作業、子どもたちとの交流。 午後：内戦時代に弾圧を受けた伝統芸能の復興に尽力するNGOによる学校、「FCC」訪問。内戦によって途切れてしまった伝統文化のひとつ、カンボジア伝統芸能スパエク(影絵芝居)の見学、影絵彫刻の体験。 夜：「CVSG」スタッフとの食事会。	(シェムリアップ泊) 【朝】【昼】【夕】
6日目	早朝：(OP)アンコールワット・サンライズツアー。 終日：神秘的で荘厳な美しさを持つ世界遺産アンコール遺跡群観光(アンコールワット、アンコールトム、タ・プローム寺院など)。	(シェムリアップ泊) 【朝】【昼】【夕】
7日目	出発まで自由行動。(OP)トンレサップ湖クルーズ。 夜：空路、帰国の途へ(乗継)。	(機内泊) 【朝】
8日目	朝：東京・大阪・福岡着。	

活動を通して感じたこと

私が活動したカンボジアのシェムリアップは、アンコール遺跡群で有名な町であると同時に、長い内戦により深く傷つけられた土地です。

私は今回の活動でこの地で地雷による犠牲者とその被災孤児やストリートチルドレンの自立支援活動を行っている NGO「CVSG JAPAN（カンボジアの村を支援する会）」の活動に実際に参加し、村人と共同で開墾作業などを行いました。そして、現地 NGO スタッフによる活動の解説や現地の人の生活向上にかかわる作業を通じて、カンボジアの抱えている問題について考え、国際支援・協力について学びました。

その中で私は今の自分自身の無力さを感じました。農作業は現地の人の方が上手でした。お金をくれようって来てくる子供たちに何もしてあげることができませんでした。

私はこの活動に「ボランティアがしてみたい！」という単純な理由で応募しました。ボランティアがなんなのかもわからず、ボランティアという言葉にただ惹かれていただけでした。そして出発間際になって、多くの不安要因が出てきました。そのことが逆に私に「ボランティアとは何か、何のためにボランティアをするのか、なんでボランティアをしないといけないのか」ということを考えさせてくれました。「ボランティアって結局は自己満足なんじゃないか」とも思いました。そのことについて、活動に参加したメンバーとも何度も議論しましたが、結局ボランティアが何かという答えは見つかりませんでした。でもこの体験がボランティアとは何かを考えるきっかけとなったことは間違いありません。日本でもボランティアと言わなくても、自分に出来る小さなことから挑戦していきたいと思いました。

今活動を終えて思うことは、「最貧国＝不幸」という方程式は成り立たないということです。日本人の私からしたら現地の人々の生活は決して豊かなものではなかったけれど、みんなそれぞれの一日を一生懸命に生きていました。市場は活気にあふれ、村には親子が質素ながらも幸せそうに生活をしていました。そして、たくさん子どもたちや村の人々とのふれあいは、作業の疲れを癒し、印象に残る思い出となりました。

今ある自分の環境や友人、仕事やお金すべてのものに感謝して、精一杯生きていこうと思いました。